

## 沖縄県 北部恩納圏域 総合水産基盤整備事業計画

### 1. 圏域の概要

#### (1) 水産業の概要

##### ① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

当圏域は、沖縄本島のほぼ中央に位置し、第1種前兼久漁港を拠点に1村、1漁協、4漁港からなる圏域である。圏域全体の陸揚げは約7億7,700万円（令和元年）に上る。なお、圏域内漁業組合における合併に関する協議は行われていない。

県域に位置する恩納村では、生産拠点に位置づけられている前兼久漁港の他3漁港を有している。圏域内の沿岸海域において県の拠点産地に認定を受けているモズク類の養殖が盛んに行われているほか、同じく県の拠点産地に認定を受けている海ぶどう（クビレズタ）の養殖も盛んに行われており、モズク類養殖とともに県内シェアの上位に位置している。前兼久漁港の産地市場では、モズク類や海ぶどう（クビレズタ）等の水産物が陸揚げされるほか、圏域内で生産されたモズク類のほとんどが当該漁港に集約され、モズク類は漁港内の加工施設において加工され、相対取引により県外・県内に出荷されているほか、鮮魚類等の水産物は、当該漁港の産地市場により県内に出荷されており、水産物の安定供給に重要な役割を担っている。また、恩納村漁協ではサンゴ増殖やサンゴ植付けの取組を実施しており漁場保全に努めているほか、前兼久漁港で水産物の直売所を行っており、観光客や地元客で賑わいをみせている。

##### ② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

圏域における水産物の生産量は令和元年で1,083トンとなっている。主な漁業種類及び魚種として、海藻類養殖業であり、モズク類や海ぶどう（クビレズタ）、ヒトエグサである。また、主要魚種の生産量は、モズク類で935トン、ヒトエグサで37トン、海ぶどう（クビレズタ）で26トンとなっている。

圏域全体では、地球温暖化によるサンゴ礁の減少等に伴い、沿岸域の資源量は総じて低下していることから、漁業協同組合を中心としたサンゴ増殖への取り組みを行っているほか、シラヒゲウニ等の種苗放流やハマフエフキ（禁漁区での一定期間全面操業禁止）、アカジン（スジアラ）やマクブ（シロクラベラ）（指定区域での体調制限）の資源管理に積極的に取り組んでいる。

##### ③ 水産物の流通・加工の状況

当圏域では、圏域内の漁港内に1箇所の産地市場が開設されており、鮮魚類を

中心とした水産物の多くが当該産地市場を通して県内に出荷されているものの、特定魚種や離島地域においては、相対取引や浜売りにより地域内外に流通されている。また、圏域内にはモズク類の加工施設が1漁港（前兼久漁港）で漁港内に隣接されており、ほとんどが一次加工され県外・県内に出荷されている。また、漁協においてモズク類やヒトエグサを2次加工し販売している。

#### ④ 養殖業の状況

圏域における主要な養殖水産物の生産量は令和元年で998トンとなっている。主な水産物としてモズク類や海ぶどう（クビレズタ）であり、特にモズク類においては、圏域内の多くの沿岸海域で盛んに行われており、圏域全体のモズク類陸揚量のすべてが養殖モズク類である。また、生産拠点に位置付けられている前兼久漁港において、種苗生産から加工・販売まで一貫した体制が整備されている。

#### ⑤ 漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

令和元年における圏域内の組合員数は232人、漁業経営体数は112体であり、平成22年に比べそれぞれ26人（11.2%）減、15体（13.3%）減でやや減少傾向にある。養殖技術の向上や担い手育成等に取り組むなど、漁協の指導・統率力が高く、県内でも有数の良好な運営状態であることから、今後増加に転じると予想している。

#### ⑥ 水産業の発展のための取組

恩納地区では、モズク類や海ぶどう（クビレズタ）の養殖技術の改善や加工施設の整備に取り組み安定した生産量の確保を図るとともに、販路の確保を行うことで価格の安定化を図り漁業者の所得向上に努めている。また、沿岸魚類の資源回復等を目的としたサンゴ養殖活動にも力を入れている。

#### ⑦ 水産基盤整備に関する課題

圏域内における水産基盤においては、水産業の成長産業化の実現に向けた水産物の安定供給の確保、海洋環境の変化に対応した浮魚礁等の整備、漁港・漁村の災害リスクへの対応力強化、漁港施設の予防保全型等の老朽化対策、海業による漁村の活性化、多様な人材が活躍できる漁港・漁村の環境整備などの課題を抱えている。

#### ⑧ 将来的な漁港機能の集約化

集約化の予定なし

### (2) 圏域設定の考え方

① 圏域タイプ	養殖・採貝藻型	設定理由；モズクや海ぶどう養殖を主とした漁業が営まれ、当該藻類の
---------	---------	----------------------------------

		国内安定供給に資する圏域
② 圏域範囲	恩納村	設定理由；圏域内の流通の拠点となっている前兼久漁港を中心とし、一括管理の下でモズク類や海ぶどう（クビレズタ）養殖を行っている範囲。
③ 流通拠点漁港	該当無し	設定理由；
④ 生産拠点漁港	前兼久漁港	設定理由；当漁港は第1種漁港で港勢は登録漁船107隻、陸揚金額591百万円である。圏域内における他漁港で陸揚された漁獲物の陸送搬入も含めたセリ市場が開設されるとともに加工販売も行われている。 また、台風等荒天時における避難漁船の安全係留施設が確保されている。
⑤ 輸出拠点漁港	該当無し	設定理由；

(令和元年)

圏域の属地陸揚量(トン)	1083.8	圏域の登録漁船隻数(隻)	254
圏域の総漁港数	4	圏域内での輸出取扱量(トン)	
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数			

当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量（収穫量）(トン)	
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額(百万円)	

## 2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

**(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化**

**① 拠点漁港等の生産・流通機能の強化**

・地域の中核的な生産拠点となる漁港において安定した漁業生産等に資する施設機能の強化を図る。

**② 養殖生産拠点の形成**

・養殖生産拠点の形成に向けて、本圏域における主要な養殖水産物であるモズクの養殖作業環境の改善や施設機能の強化を検討し、安定的な供給体制の構築を目指す。

**(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保**

**① 環境変化に適応した漁場生産力の強化**

・沿岸域の資源低下等の海洋環境変化に対応し沖合域への漁業展開を促進するため、浮魚礁の整備を行うとともに、海域の環境変化を把握するため亜熱帯海域の重要な基礎生産の場であるサンゴのモニタリングを行う。

**② 災害リスクへの対応力強化**

・老朽化が進行している漁港施設において、効率的な維持管理を行うとともに機能保全計画の見直しや予防保全型の老朽化対策を実施することにより、持続可能なインフラ管理を推進する。

**(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上**

**① 「海業」による漁村の活性化**

・恩納村は県内有数の海洋性リゾート地域であり、交流人口は県内漁港において最多を記録している。ダイビング業など都市と漁村の交流が盛んであることから、そのポテンシャルを生かし漁村地域のさらなる発展を促進する。また、漁港内の空いたスペースを活用し遊漁等の為の係留施設や休憩所を整備することにより、漁港の利用適正化による活用促進を図る。

**② 地域の水産業を支える多様な人材の活躍**

・高齢化等により生産活動を支える人材が減少してきていることから、多様な人材が安全で働きやすい環境が整備されていない漁港において、浮体式船岸や防暑施設等を整備し、就労環境の改善を図る。

### 3. 目標達成のための具体的な施策

#### (1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

##### ① 拠点漁港等の生産・流通機能の強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
前兼久	流通機能強化	水産生産	前兼久	1	

・産地市場を有し圏域内の漁港から水産物が集約される、前兼久地区において、ICTの導入により生産活動の効率化等を検討するほか、安定した漁業生産等に資する施設機能の強化として護岸や浮棧橋等の整備により、産地における価格形成力の向上と生産・流通コストの縮減を図る。

##### ② 養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点

・養殖生産拠点の形成に向けて、養殖作業環境の改善や加工施設等の機能強化を検討する。

#### (2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

##### ① 環境変化に適応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
沖縄	環境変化	水産環境

・沖縄地区において、沿岸域の資源低下等の海洋環境変化に対応し、沖合域への漁業展開を促進するため、浮魚礁の整備を行うとともに、圏域内の沿岸域において、海域の環境変化を把握するため亜熱帯海域の重要な基礎生産の場であるサンゴの保全活動（食害生物の除去）やモニタリング調査を行う。

##### ② 災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
真栄田	予防保全	機能保全	真栄田	1	

・真栄田地区において、老朽化が進行している漁港施設の機能保全計画の見直しや予防保全型の老朽化対策を行う。

#### (3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

##### ① 「海業」による漁村の活性化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
前兼久	地域活性化	北部振興予算	前兼久	1	

・前兼久地区において、漁港内の空きスペースを活用して遊漁等のための係留施設や休憩所の整備により、漁港の利活用の促進を図る。

## ②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
恩納	就労環境	地域水産物	恩納	1	

・恩納地区において、浮棧橋や防暑施設等を整備し、就労環境の改善を図る。

## 4. 環境への配慮事項

- ・整備計画の策定及び工事の実施にあたっては景観、近隣住民との調整に配慮し、施工にあたっては水質悪化により漁業被害、サンゴ礁等に対する環境破壊等が生じることがないように留意する。

## 5. 水産物流通圏域図

